

会議録

会議の名称	中野市市民会館整備方針（案）に係る市民説明会
日時	令和2年8月21日（金） 午後6時30分～午後7時50分
会場	中野市市民会館 ホール
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 27人・市出席 7人 市長、副市長、総務部長、くらしと文化部長、政策情報課長、財政課長、文化スポーツ振興課文化振興係長・中野市市民会館リノベーション設計業務受託者 2人（内1人はWebシステムでのオンライン参加）
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 中野市市民会館リノベーション基本設計(案)について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

中野市市民会館リノベーション基本設計(案)に係る市民説明会 会議録

日時 令和2年8月21日(金)
午後6時30分～午後7時50分
会場 中野市市民会館 ホール

1 開会

2 あいさつ

(市長)

皆さん、こんばんは。中野市市民会館リノベーション基本設計案に係る市民説明会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

今日は熱中症アラートが出るなど、大変暑い一日、そしてまた、お仕事を終えられた後のお疲れのところ、こうして市民説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

さて、この市民会館につきましては、昭和44年の建設から50年以上が経過いたしました。耐震性の不足や老朽化など様々な課題を抱えていることから、今年の3月に策定した「市民会館整備方針」におきまして、「安全・安心の確保」「財政負担の軽減」「新たな価値の創造」そういった観点から、現在の建物を大規模改修し長寿命化することによって、「リノベーション」することによって整備することとし、基本設計を進めて参りました。

リノベーションって言うのはよく言われているとおり、あるものとあるものを組み合わせて新しい価値、新しいものを創造する、そういった形です。概要といたしましては、大ホールの大規模改修、また多目的ホールや市民創造回廊の新設、バリアフリーの改修などを計画しているところでございます。

このリノベーションは、単なる施設の改修ではなく、将来によって施設を使用していくために必要とされる使い方や機能を整え、新たな価値を生み出すものがあります。これから先も市民の皆様へ愛され、そして音楽都市「中野市」にふさわしい市民会館になるものと確信しております。

本日は、平面計画、また音響計画などをまとめた基本設計案について、これを市民の皆様にご説明をさせていただきますので、より良い施設となるよう、忌憚のないご意見やご要望をお聞かせいただきたいと存じます。皆様のご理解を頂きながら事業を進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。冒頭のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 中野市市民会館リノベーション基本設計(案)について

- ・整備方針について、くらしと文化部長から説明。
- ・基本設計(案)について、設計業務受託者から資料に基づき説明。

4 質疑応答

(市民A)

中野市吹奏楽団でお世話になっております、〇〇と申します。日ごろは市民会館にて練習や演奏会等で利用させていただいております、ありがとうございます。一つ質問ですけれども、会議室を楽屋等にもって行きますよということなんですけれども、その会議室を楽屋等で利用した場合、その中で楽器等ウォーミングアップで演奏した場合、結構音が反射してしまうんですけど、その場合例えば吸音材を使うとか、そういった関係はどうなっているのか、ちょっとお伺いしたいと思います。

(設計者)

会議室は楽屋としても使用できるように、遮音には通常よりも注意した壁仕様とします。また、天井も吸音材を使用したり、扉に関しても遮音性能の高い扉を使用することにしていきます。当然使用される楽器にもよりますが、通常の会議室よりは遮音性能を確保できると考えております。

(市民B)

〇〇と申します。今日はありがとうございます。すごく夢が膨らむというか、素敵なホールが出来るんだな、と今日聞かせていただきました。

いくつかあるんですけど、一つは、資料に書いてあるのかも知れないんですけど、舞台の奥行がどのくらいになるのか、何メートルくらいになるのか、というのが一つ。もう一点は、回転式の反射板ということだったんですけど、それは自動式できるのか、それとも手動でやるのか。その二点です。

(設計者)

舞台の奥行ですけれども、今の現状が10メートルに満たないようなちょっと狭い奥行でございます。今回図面に載せておりますように前舞台を前列座席2列3列ぐらい無くして客席側に広げます。このことによって概ね12メートルぐらいの寸法を確保する予定でございます。それくらいですと、例えばオーケストラが入った形で利用できるメリット。この規模のホールではスタンダードな奥行となります。また、音響反射板の回転につきましては、基本的には手動で考えております。電動の施設もございますけれども、やはり手動でやることで、天井に余計な荷重がないことが逆に安全に操作できるというふうに考えております。

ただ今の音響反射板と比べて、音響性能を確保するために、もう少し仕上げをしっかりと、重たい反射板になりますので、安全対策をしっかり行って行きたいと

思います。

(市民C)

ボイスサークルの〇〇と言います。歌を歌う時にひな壇を作るんですよね。で、準備の時や何かはあっちの部屋の方から持って来てるんですけど、今度はそうゆうひな壇とか、どうなるんだろうなって。それが一点と、それと入場する時、その狭い所の階段を歩いてステージに上がって、またそちらの舞台上の狭い所を歩いて行って、楽屋に戻るにも一苦労して着替えをしながら行くんですが、今度はもうちょっと近くステージの後ろとか近間で出来るのかなと思っているのですが、どうでしょうか。お願いします。

(設計者)

資料の 15 ページないしは 17 ページに大ホールの平面図 1 階の平面図が載っていると思います。こちらをご覧くださいますと、舞台と後ろ廊下、緑色で塗ったエリアがございます。こちらは今回新たに新設する舞台の劇場の廊下になります。ですので、上手下手側に扉があって、とくに図面の左下の方ですね、上手側の方に大きな扉と、「荷捌き」と書いてあると思います。その横に「倉庫」と書かれています。そちらに倉庫を設けて、そちらにひな壇のような大きなものは出し入れが出来る、というような事を計画しております。楽屋もすぐ後ろにございますので、すぐに楽屋に入ってもらったり、あと上手下手の行き来も、後ろの廊下で十分できるかと思いますし、後ろの廊下も 2 メートル程度の幅を取っております。あと柱型の部分、これを入れれば 2.5 メートルという寸法がございますので、ちょっとした荷物を置いたり、そういったことも含めて十分に活用できると思っております。

(市民D)

〇〇と申します。三点ほどお願いしたいと思いますが。

まず障がい者の方について一点。現在の市民会館はステージに上がる時に、身体障がいの方が階段を上がるんですけども、車イスで大変苦労した経験があります。その辺の改修について、一点。

それから、色んな催しがありますが、その休憩時間にトイレの問題なんですが、非常にあの、男性はだいぶ空いてるんですが、女性は大変困ってらっしゃる。混んじゃって。その辺の改修はどうなっているんですか。

それから三点目は新しく市民会館になりまして、常駐の職員とか事務所におられるのでしょうか、この三点を伺いたいと思います、よろしくお願いします。

(設計者)

はい、では私の方から一点目、二点目について、若干聞き取れなかったところがあるので、間違っていたらご指摘いただければと思います。

基本的には障がい者の方に対して今回は全てスロープで全館行き来が出来るような形で考えております。座席側の車いす席ですとか、ステージ側もバリアフリーにし、緩い勾配のスロープで繋いであるような全体の計画をしております。

また、トイレの数に関しまして、どのホールでも休憩時間に女性の方の列が出来ると思います。今のホール、地下にあります。が、トイレの数、女性は10個ブースがございます。今回、ホワイエの左の方に、水色でトイレのレイアウトを入れておりますが、16個ございまして、6個増えます。また、車いすトイレも付けますので、お子様や障がい者の方も幅広くお使いいただけ、あと、多目的ホールのトイレの方にも女性用が4個ございますので、20個近いトイレになる。そういったところを活用していただければ、かなりそういったストレスは解消できるのではないかと考えております。

(くらしと文化部長)

では三点目の職員が常駐するかどうかにつきましてですが、15ページご覧いただきたいと思うんですけども、右手の会議室棟、市役所からの入口付近に事務室という形で部屋を設けてございますが、その管理体制につきましては、今、検討しているところございまして、指定管理ですとかそういったものもございまして、検討して行って参りたいと思いますのでよろしくお願いたします。

よろしいでしょうか。

(市民D)

はい、どうもありがとうございました。今日このような会議を開いていただきありがとうございます。ありがとうございました。

(市民E)

〇〇と申します。今、トイレの話題が出たんですけども、私、ホールのね、ホワイエにあるトイレ、ものすごく気になるんですね。設計の段階でね、どっかもう少し違うところに考えられないのか。つまり大ホールと小ホールと一緒にした、もっと目立たいようなね、目立たないと言うか、そういう言い方、ちょっとあれなんですけれども、一緒にしたもうちょっと違うところに移動できないかなという。

その理由はですね、ホールのホワイエっていうのは非常に大事なんです。音楽的な空気を醸し出したりね、演奏が終わってちょっと休憩の時にちょっと座って、「今の演奏どうだった」とかね、「こういうことがあればいいな」とか、そういうことがある訳ですね。そこにトイレがあるとやっぱりね、雰囲気もたない気がするんです。やるとすれば、大ホールのホワイエのトイレと小ホールのトイレを、どこか一か所にまとめていただければなど。例えば上田のサントミュージゼなんかは、あのホワイエ非常にいいですよ。雰囲気があります。ホワイエの持っている意味、とても会場としては大事だと思うんですよ。それが一点。

それからもう一点は、18 ページの大ホール、内装イメージのことなんです。これはステージのサイドとバックの色はもう決定なんですか。私はね、例えばオーケストラにしても、合唱にしても演劇にしても、いろいろ照明使うんですけども、白の方がコスチューム目立つんですね。こういうのだと同化されて目立たない。例えば合唱の方演奏する方はコスチューム大変気を遣うんですね。形、それから色彩。そういうものを考えた時に、白の方がとってもそういう意味では利便性があると言いますか、そこを考えていただきたいと思います。

それからもう一点。これは直接構造とかね、そういうことと関係ないんですけども、今、聞かせてもらったりして大変苦勞して出来上がったもの、素晴らしいホールが出来る事を私は大変期待しております。特に全ての裏に楽屋があるこれは利便性があって、出演者が非常に落ち着いて、出演できると思うんですね。それで、こんなに立派なものが出来ました。それでは私のお願いはですね、何かステータスになるもの、中野市市民会館として、ステータスになるもの、そのものの一つとして、例えば中に備える楽器ですね。ピアノですね。これを一つ考えていただきたいなと思っております。入札でやると割かし安い方の楽器メーカーになったりするんですけども、そうでなくて、この周りは今、スタンウェイが多いですけども、私の個人的には、ウイーン系の、ヨーロッパの、ベーゼンドルファのピアノを入れていただくと、これはひとつの中野市市民会館の、ステータスになると。これはこの会とは違うんですけども、この三点、感じた事を申し上げます。ありがとうございます。

(設計者)

まずトイレの位置に関しましては、私共も市の方々と検討したんですけども、やはり今ご意見のとおり、ホワイエはゆったりとしてそこにあまりトイレは出たくないところではあるのですが、なかなか、空間的な限りがある中で、今ちょっと工夫をしているのは、ちょっと図面にて分かりづらいかも知れませんが、女性のトイレは、入り口と出口を二つに分けて、入り口と出口を別々にして、そこで回遊して一方向で出れるような工夫をして、なるべく人が並ぶということを防ぐような工夫をしております。入口もなるべく奥の方から入っていただくような工夫をしているところでございます。ご意見にありましたように、大ホールと多目的ホール側のトイレを一体化させるといったことも可能性としてあるとは思いますが、同時に使用することを考えたりすると、やはり活動域は分けた方がよろしいかなと。大ホール側と多目的側に障がい者の方や親子で使う多目的トイレを分けて設置をしております。

また二番目の音響反射板の色に関しましては、やはりご意見とてもよくわかります。あのパースの色が、少し何となく沈んだ感じの色です。こちらに関しましてはちょっと木質系の物ですが、少し白木調の明るい色の配色、検討していきますの

で、今このパースの色で決定ということではございません。今後、施工段階も含めまして、いろんなサンプル等準備しながらして決定して行きたいと思います。

(くらしと文化部長)

はい、それでは三点目ですが、ピアノ等の備品につきましては、また今後選定に関しまして検討して参りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

(市民B)

先程質問いたしました、〇〇と申します。要望です。素敵なエントランスホールとか、多目的スペースとか、あるじゃないですか。で、今の市民会館は使う時じゃないと入れない、やってる時じゃないと入れない状態なんですけれども、そうじゃなくて、割と自由にとというか、使えたら嬉しいなというのと、あと例えば、ステージの上だとちょっと無理だと思んですけど、ホワイエなんかは街角ピアノみたいに市民が使える、そんな様なことが出来たら素敵だなって思いますのでご検討ください。以上です。

(くらしと文化部長)

はい、現在ですね、オープンにして開けた空間、あとホワイエにピアノ、自由に使っていただけるような考えでおります。

(市民F)

バレエ楽園の後援会の代表をさせていただいています、〇〇と申します。今日は本部の先生方に新しくなる市民会館をいろいろ自分で聞いてきて、本部の先生方にお話してご意見伺うために今日は参加いたしました。3点ほど教えていただきたい事があります。私自身で聞き逃してしまった部分もあるかも知れませんが、すみません、よろしく願いします。

まず、一点目が、今現在の大ホールの大きさとホワイエの大きさなんですけど、このままの状態で新しい大ホール、ホワイエが出来るのでしょうか。

あともう一点が、ステージの高さは大体どのくらいでしょうか、今位くらいの高さでしょうか。

あと最後なんですけれど、舞台の奥行が10メートルから12メートルになると伺ったんですが、オーケストラピットを作った場合、舞台の奥行は変わってくるのでしょうか、それとも客席数の方を取り外してオーケストラピットにするのでしょうか、舞台奥行について再度教えて下さい、よろしく願いします。

(設計者)

では一点目のホワイエになりますけども、基本的には現在のホワイエと同じサイズ、ただ、図面にあります今の出入口側のところの一番北側に風除室があるんですけれど、ここは中止をしてホワイエとして広げますのでその部分、今よりは広く

感じるかとは思いますが、あと、ピアノが図面に書いてある西側の部分ですね、増築して広がる感じでございます。

あと、舞台の高さに関しましては、基本的には今の舞台の高さよりは若干、低くなる予定で検討しているところでございます。

あとはオーケストラピットですね、オーケストラピットに関しましては基本的には先程申し上げた前舞台の部分、一部取り壊してオーケストラピットを作る形になりますので、オーケストラピットとして利用した時には舞台自体の奥行は今の舞台と概ね同じような形に、奥行になるというふうに考えております。以上でございます。

(くらしと文化部長)

あとですね、大ホールの大きさは、このホールそのままという形でよろしいでしょうか。

(設計者)

はい、大ホール、よいです。

(市民F)

はい、分かりました。ありがとうございます。楽しみにしています。

(市民G)

はい、あのぜひお願いしたい事はね、さっきお話にありましたとおり、50年先ってことでね、非常にその、今これができたのが50年前です。今現状で、みなさんからご意見も出て、芸術的に直そうと、これは私、否定しません。そういう中でね、お願いしたい。これから50年後、私もういないと思いますけれども、飛行機の時代で自宅からここまで空飛んで来るかも知れませんが、現状やはり車社会なんです。で、さっき言われました、駐車場減らすなんて考えられない。もう800の席でね、800席で131台しかない。これじゃあまたどっかへ駐車しなくちゃいけない。特に私は前にもお話しましたが、老人クラブの会長もやってますものでね、やっぱりここに来るには車でなきゃ来れないんですよ。一人が一台の時代、それで131人しか入れない。そういう中で私は21億って出てますけども、50年って考えればね、駐車場ってのは増やさないと、じゃあどうするかっていったら、地下を駐車場にするとかね。そういうような予算足したっていいと思うんです。現状では他からピストン輸送やるってのも一つかも知れませんが、駐車場が一番大変。そういうことを踏まえて、利便性。これから50年を考えれば、割れば21億は大したことないですよ。そういうことを踏まえてね、是非ね、その辺の見直しをしていただきたい。

あと、トイレの関係ね、私は北側の所に若干の駐車場あると思うんですけど、そういう所をね、私はトイレにしたっていいと思う。そういうことを踏まえてやれば、

もう少しね、使う人たちが、50年先、ちょっとわかりませんが、「いいもの出来た」と。今、中野についてはあまり言いませんけど、そういうことを踏まえてね、是非ね、検討していただきたいと思います。いかがでしょうか。

(くらしと文化部長)

駐車場につきましては現状この土地で建物そのままという形になっておりますので、今ですね、イベント等でやっている時に色々な場所を借りながら賄っているという状況でございまして、その辺はご理解いただきたいと思っております。

また、トイレのご意見につきましては地下から建物内に上げるということで、今、ホワイエに新設したい、というような考えであります。

(市民G)

はい、あのすみませんね、考えはわかるんです。ただね、今50年先と考えるとこれはね、是非ね、考えていただきたい、見直しをね。私はお願いしたいと思いません。後はよろしくをお願いします。

(くらしと文化部長)

ご意見として伺いしておきますので、よろしく願いいたします。

(市民H)

コロナ対策ありがとうございます。中野の北部にあります、〇〇と申します。3点ほど要望と質問と一緒になっちゃいそうですが、設計者さんいらっしゃいますので、お聞きしたいと思います。

リノベーションでリニューアルした市民会館を、私、望んでいた者として、まずあのキャパシティですね、800席にした根拠について。今の現状で機能しているもの、それからイベントなど呼び込む場合の招へいイベントとどの程度の傾斜配分を考えておられるのか、これは回転率に関係あると思うんですけど。

それから、楽屋と舞台なんですけども、わたし長野フィルに30年以上在籍してオーケストラの方よくわかっているんですけど、舞台裏のスペースが全くないんで、演劇とか、舞台転換する時に、非常に不便だと思うんですけど、これだとどこかの市民会館と一緒になっちゃいますんで、是非、広げてスペースを取っていただけると。もしオーケストラピットがそのために出来ないとなれば、オーケストラピットの部分をちょっと客席の中へ、600くらい500くらいにどこかで絞ってやらなきゃいけないと思うんですが、ちょっと舞台の裏を広げてほしい、とゆうことです。

それと楽屋自体の大きさがこれでいいのかというのを検討してもらって、数と大きさの問題ですね、どの程度のセットでいらっしゃるのか。と、それからリハーサル室があまりにも遠いので、リハーサル室を多目的スペースが分断していることによって、移動の場所のお客さんと舞台に乗る人との関係がありますので、その辺のスペースの関係が、楽屋裏あるいは地下、あるいは多目的ホールの上とか下と

かちょっと近くへ動かしてもらえればと思っております。

あと皆さん知ってると思うんですが、長野市の市民会館を作る時にですね、リニューアルじゃなかったんですが、「響きを繋いで」というイベントのコンセプトがあったもので、絶対あの、音楽が死なないものですから、ソフトの面で、今使用されている方が市民会館が出来るまでの間、活動をストップしないような方法で、何とか考えていただきたいと思います。もちろん豊田のホールも含めて検討していただければと思います。よろしく申し上げます。ちょっと長くなりましてすみません、以上です。

(設計者)

はい、まず一番目に関しまして、客席ですね、ご指摘がありました通り、今の市民会館の客席のサイズ、45センチ幅を52センチ幅にご提案をしています。52センチというのは、サントリーホールの幅が52センチであります。概ね今、50センチというのがスタンダードですから、ゆったり感じる良い事例がサントリーホールでございます。席数に関しましては、こちらに置き換えた時、なるべく視線の確保を含めて工夫をしていくと800席、といったところでございます。

また、楽屋に関しましては、当然広ければ余計よろしいですが、楽屋も大中小と、ありまして、あと、楽屋ゾーンに関しましては、多目的ホール側に会議室1・2・3とありますが、こちらに必要な時は楽屋として使って、舞台の後ろ側で繋げるような使い勝手、当然、多目的ホールもリハーサル室として使うというような形で、計画しております。ですので、多目的ホール側、会議室と書いてありますが、ある程度楽屋としても使えるような、コンセントの数ですとか、そういった対応をこれからも考えていきます。リハーサル室に関しましては今2階に設置しております。2階に設置した理由は、やはり会議室棟の天井高の関係で、やはり2階の方が天井高をきちんと取れますので、リハーサル室としての機能として、きちんと確保できるのかなあと、あとエレベーターも設置してありますので、利便性・遮音性能も含めてリハーサル室を2階へ設置したところでございます。どうしてもそうすると、近さという意味では問題があるかも知れませんが、そういった音響的なところを優先してこのような配置にしております。

あと、舞台の周りですね、出来る限りスペースを取れるように、既存の舞台袖にあったトイレを中止したり、工夫はしておりますので、今後も引き続き、今の様なご意見も伺いましたので、努めて行きたいと思っております。

以上でよろしかったでしょうか。

(くらしと文化部長)

はい、それでですね、最後の質問。長野市の「響きを繋いで」という、こちら私も内容を少し見させていただいておまして、こちらにつきましては、この市民会館閉館期間中、文化振興が図れるようにですね、やっていきたいと思っております

ので、よろしく願いをいたします。また、市民会館の利用人数であります、8割方が500人から800人規模のイベント、催し物等になってはおります。以上でございます。

(市民D)

お願いしたいと思います。収容人員ですが、現在の市民会館は1000どのくらいですか。

(くらしと文化部長)

今現在、1012です。

(市民D)

今現在1012ですか。まあ、今回800席ずらっと客席だそうでございますが、飯山市の「なちゅら」がありますが、そこである講演会があったのです。非常に盛況で、お客さんが入りきれなくて、サブホールで対応したわけですが、そういった時に、ビデオで隣の部屋で観たんですが、今回そういった場合は、その辺どうなりますか。

(くらしと文化部長)

そういった場合は、会議室棟に作ります多目的ホールで、こちら入りきらなかった場合にはこちらに映像・音声等流して観れる様な形にしたいと考えています。

(市民I)

〇〇です。二点ほどちょっとお聞きしたいんですけど、ホールの電気設備なんですけど、明るさ的にはどのような雰囲気なのでしょうか。もっと明るい方が観る方は具合いいかなと思います。

それと床の高さなんですけれども、ステージの舞台と多目的ホールの床の高さは平らになってくるのでしょうか。その辺をちょっと聞いたかったんですけど、お願いします。

(設計者)

まず一点目照明につきまして、私も今の客席の照明はちょっと暗めで、内装材を含めて少し暗く感じます。客用照明につきましては今より照度の明るい、基本的にはLED照明に全部変えるような形に考えております。ただ、舞台照明に関しましては、ハロゲン系照明器具も使えるようにしたいと考えております。かなり明るく、講演会のような他の催しにも使いやすくなるのではないかと考えております。

二点目が、段差ですね。基本的にホールのステージの高さを若干低くしているのと同時に多目的ホール棟の床高さを15センチ位上げてあります。基本的に多目的ホールの床に関しても、フローリングの床にしますので、今の床レベルから上げないと上手くできませんので、そういった意味で今より差が縮まっております。それ

をスロープで繋ぐような形で、バリアフリーで繋がる程度のレベル差にして解消すると、いうことをしております。

- ・パブリックコメント募集の案内
- ・リノベーションラボの募集の案内

5 閉会